

加東市立学校 ICT 活用支援業務委託に係る公募型プロポーザルの審査結果について

1 業務の概要

- (1) 業務名 加東市立学校 I C T活用支援業務委託
- (2) 業務期間 令和9年4月1日から令和14年3月31日まで（長期継続契約）

2 選考の経過

実施内容	日程
実施の公告（実施要領の配布）	令和8年7月10日（金）
参加申込書・質問書提出期限	令和8年7月21日（火）
質問書の回答期日	令和8年7月28日（火）
第一次審査（参加資格審査）結果の通知	令和8年7月31日（金）
企画提案書提出期限	令和8年8月7日（金）
第二次審査（プレゼンテーション審査）	令和8年8月26日（水）
審査結果通知	令和8年9月9日（水）

3 受託候補者の選定

(1) 選定方法

受託候補者の選定に当たっては、加東市立学校 ICT 活用支援業務委託事業者選定審査委員会を設置し、審査委員が実施要領に記載した審査基準に基づき審査した。

(2) 審査基準における項目は下記のとおりである。

審査項目	内容	評点（配点）
1 実績・体制	ICT 支援員派遣業務委託についての経験・実績	60 点
2 体制	業務遂行のための適切な体制（人員配置等）	30 点
3 体制	指示及び連絡を円滑に行うための工夫	30 点
4 危機管理	危機管理体制（事故・欠員・個人情報等）	30 点
5 方針	経営方針及び業務に関する基本方針	60 点
6 支援員育成	研修やミーティングによる支援員の育成	60 点
7 提案力	授業・教材・校務における独自の具体的提案	60 点
8 教員研修	教員に対する研修や打ち合わせの実施	60 点
9 独自提案	学校における効果的な ICT 活用に関する独自提案	60 点
10 学習コンテンツ(アプリ)	コンテンツの機能・操作性・優れた機能	60 点
11 学習コンテンツ(活用)	コンテンツ機能を活かした具体的なサポート	30 点
12 プレゼン	説明の明確さ・質疑応答の迅速性	30 点
13 価格	見積金額の妥当性	30 点
合計		600 点

※有効評点：360 点以上（満点 600 点 [100 点×審査委員数等の基準] の6割を超える点数）

4 審査結果

審査の結果、次の者を受託候補者として選定することに決定した。

(1) 受託候補者

株式会社ウチダシステムズ 神戸支店

(2) 所在地

兵庫県神戸市中央区雲井通 4-2-2 マークラー神戸ビル 12F

(3) 審査結果表

別紙のとおり

(評価の概要)

本業務は、GIGA スクール構想のもと、加東市立小中学校における 1 人 1 台端末を活用した「主体的・対話的で深い学び」の定着及び発展を図るとともに、教員の ICT 活用指導力の向上や ICT 環境整備に伴う業務負担軽減を目的としている。

公募を行った結果、4 者から参加申込みがあり、一次審査（参加資格審査）を経たのち、企画提案書の提出があった 2 者に対して二次審査（プレゼンテーション）を実施し、それぞれの審査項目について審査した。

審査の結果、すべての事業者の点数が有効評点である 6 割を超えた得点であった。

受託候補者（B 者）は、これまでの「派遣業務実績」【項目 1】において特に高い評価を得たほか、導入する「学習コンテンツ（アプリ）の機能・操作性」【項目 10】においても高い評価を得た。さらに、「指示・連絡を円滑に行うための工夫」【項目 3】、「危機管理体制」【項目 4】、「学校における効果的な ICT 活用についての独自提案」【項目 9】および「コンテンツ機能を活かした具体的なサポート体制」【項目 11】の各項目においても安定した評価を重ねた。

特に、提案された学習コンテンツ（アプリ）においては、次期学習指導要領を見据えた AI 活用に関する先進的な機能が高く評価され、本アプリを導入することにより、児童生徒の個別最適な学びの推進ならびに更なる教育効果の発揮が大きく期待できる提案であった。

以上の点ならびにプレゼンテーションでの質疑応答等を踏まえ、本市学校教育の質的向上と安心・安全な運用に最も寄与する提案であると総合的に判断し、受託候補者に選定することが妥当と決定した。

(別紙)

加東市立学校 I C T活用支援業務委託に係る公募型プロポーザル

審査結果

項目番号	評価の項目	評価の内容	評点	
			A者	B者
1	【実績・体制】 事務局採点	I C T支援員派遣業務委託について、豊富な経験や実績を有しているか。	48	60
2	【体制】	業務遂行のための適切な体制（人員配置・役割分担等）となっているか。	22	21
3	【体制】	教育委員会及び学校から I C T支援員への指示及び連絡を円滑に行うための工夫があるか。	22	23
4	【危機管理】	危機管理体制（事故・欠員・トラブル・個人情報の取り扱い等）は適切か。	19	22
5	【方針】	経営方針及び業務に関する基本方針が、本市が求める業務目的の達成に適しているか。	46	46
6	【支援員育成】	支援員が十分な支援を行えるよう、研修やミーティングを的確に行うことができるか。	46	44
7	【提案力】	授業支援・教材支援及び校務における I C T活用について、独自の具体的な提案を積極的に行うことができるか。	42	42
8	【教員研修】	I C T支援員は、教員に対する研修や打ち合わせを積極的に行えるか。	44	42
9	【独自提案】	学校における効果的な I C T活用について、独自の提案はあるか。	42	44
10	【学習コンテンツ（アプリ）】	提案される I C T学習コンテンツは、基本方針の要件を満たし、操作性が高く、優れた機能を有しているか。	48	52
11	【学習コンテンツ（活用）】	I C T支援員は、導入するコンテンツの機能（つまづき分析等）を効果的に活用し、具体的なサポートを行えるか。	22	23
12	【プレゼン】	企画提案書の内容を的確に分かりやすく説明できているか。また、質問に対する応答が迅速かつ明確か。	22	21
13	【価格】 事務局採点	見積金額は、企画提案の内容及び業務実施体制等に対して妥当であるか。	30	18
合計			453	458
順位			2	1